

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成21年12月3日(2009.12.3)

【公開番号】特開2009-41866(P2009-41866A)

【公開日】平成21年2月26日(2009.2.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-008

【出願番号】特願2007-208819(P2007-208819)

【国際特許分類】

F 25 D 23/04 (2006.01)

【F I】

F 25 D 23/04 G

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月21日(2009.10.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

収容物を支える第1底板と、

上記第1底板から立ち上がるよう延びるとともに、上記第1底板上における面上空間の少なくとも一部を囲い込む第1外壁と

上記面上空間を隔てており、その隔てた箇所から延びて上記面上空間の外周の一端に至る方向を第1方向とし、その第1方向の反対側に延びることで面上空間の外周の別端に至る方向を第2方向とすると、上記の隔てた箇所から第1方向側に向かって面上空間の外周に至るまでの第1間隔を、上記の隔てた箇所から上記第2方向側に向かって面上空間の外周に至るまでの第2間隔よりも短くする第1仕切り片と、

上記第1仕切り片から間隔を空けつつずれて位置することで、上記面上空間を隔てており、その隔てた箇所から上記第1方向側に向かって面上空間の外周に至るまでの第3間隔を、上記の隔てた箇所から上記第2方向側に向かって面上空間の外周に至るまでの第4間隔よりも長くする第2仕切り片と、

を、含む収容箱。

【請求項2】

上記第1仕切り片と第2仕切り片との間隔を乖離開口面とし、

上記乖離開口面に接し、かつ上記第1底面につながる上記第1仕切り片の縁を第1側縁とともに、上記第1側縁から上記第1方向側に向かって上記面上空間に至るまでの仮想面を第1仮想面とすると、

上記第1仕切り片および上記第2仕切り片によって隔てられる第1方向側の面上空間である主第1空間は、上記第1仮想面によって、上記第1間隔を含む副第1空間と、上記第3間隔を含む副第3空間とに隔てられる請求項1に記載の収容箱。

【請求項3】

上記第1仕切り片と第2仕切り片との間隔を乖離開口面とし、

上記乖離開口面に接し、かつ上記第1底面につながる上記第2仕切り片の縁を第2側縁とともに、上記第2側縁から上記第2方向側に向かって上記面上空間に至るまでの仮想面を第2仮想面とすると、

上記第1仕切り片および上記第2仕切り片によって隔てられる第2方向側の面上空間である主第2空間には、上記第2仮想面によって、上記第2間隔を含む副第2空間と、上記

第4間隔を含む副第4空間とに隔てられる請求項1または2に記載の収容箱。

【請求項4】

請求項1～3のいずれか1項に記載の収容箱を第1収容箱とすると、

この第1収容箱、および第1収容箱から突き出る収容物の一端を囲い込む囲み縁を含む第2底板と、

上記囲み縁を含む上記第2底板の縁に沿うようにして、その第2底板から立ち上がり、上記囲み縁につながる壁面である囲み壁面を含む第2外壁と、

を備える第2収容箱、を含む収容箱セット。

【請求項5】

請求項1～4のいずれか1項に記載の収容箱が、開閉扉の内側面に位置する冷却庫。